

[通常機体] レ Z 「SEED DESTINY」

レジェンドガンダム

機体名	レジェンド	画像
型式番号	ZGMF-X666S	
英語名	LEGEND GUNDAM	
所属	ザフト軍	
パイロット	レイ・ザ・バレル	
装甲材質		
装備	ガトリング機関砲「MMI-GAU26 17.5 ミリ CIWS」× 2 ビームライフル「MA-BAR78F 高エネルギービームライフル」MA-M80S デファイント改ビームシャベリン× 2 ビームシールド「MX2351 ソリドゥスフルゴール」× 2 ビームスパイク装備型ドラグーン「GDU-X7 突撃ビーム機動砲」× 2 通常型ドラグーン「GDU-X5 突撃ビーム機動砲」× 8 対艦刀「MMI-710 エクスカリバーレーザー対艦刀」(本来ソードインパルスの武器だが第 38 話の対デストロイ戦で使用した為ここに掲載)	
作品名	機動戦士ガンダム SEED DESTINY	
参考書籍	HG <u>レジェンドガンダム</u> 説明書ホビージャパン 05 年 7 月号	

内容

{ ZGMF-X666S レジェンド } はプラントで { ZGMF-X42S デスティニー } と共に極秘裏に開発され、プラント最高評議会議長ギルバード・デュランダルが「ロゴス」との決戦に際して投入した機体である。

{ ZGMF-56S インパルス } をはじめとする「セカンドシリーズ」の MS を大幅に上回る性能を保持し、さらにはデスティニーと同様に最新型の動力機関「ハイパーデュートリオン」が搭載されている。

これは従来のデュートリオンと核のハイブリットであり、その出力は計算上オリジナルの数倍であるとされる。

この機体の最大の特徴はシルエットからもうかがえるように前大戦終盤でザフトが投入した { ZGMF-X13A プロヴィデンス } に酷似した分離式統合制御高速機動兵装郡ネットワークシステム「ドラグーン」が搭載されている点にある。

この武装は全周攻撃と広領域戦闘性に優れている反面、従来のシステムでは優れた空間認識能力を保有している限られたパイロットにしか運用できなかったが、「ZGMF-24S カオス」に搭載されていた機動歩兵ポッドを経て比較的容易に運用可能なドラグーンシステムへと進化を遂げている。

備考

1/144 ブラモでは何故かブラスト以外のシルエットが装備できる。

1/100 はまだ発売されていないため未確認。

本来はアスラン用に用意された機体だがアスラン脱走によりレイの搭乗機になった。

スペック

項目	内容
全高	18.66m
頭頂高	
全長	
重量	86.02t
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	